

各位

上場会社名 株式会社 スーパーバリュー
 代表者 代表取締役執行役員社長 岸本 七朗
 (コード番号 3094)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理統括 中谷 圭一
 (TEL 048-778-3222)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成26年4月11日に発表しました平成27年2月期の業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 64,600 | 660 | 746 | 442 | 209.45 |
| 今回修正予想(B) | 60,250 | 350 | 462 | 277 | 131.26 |
| 増減額(B-A) | △4,350 | △310 | △284 | △165 | |
| 増減率(%) | △6.7 | △47.0 | △38.1 | △37.3 | |
| (ご参考)前期実績 (平成26年2月期) | 59,062 | 652 | 623 | 370 | 175.81 |

修正の理由

当期におきましては、平成26年4月の消費税増税駆け込み需要の反動減に加え、実質所得が伸び悩む中での物価上昇により消費者の節約志向は高い水準で推移し、また局地的な豪雨や週末、連休の台風など天候不順の影響も大きく、既存店売上高が4月以降前年を割り込む非常に厳しい状況が続きました。
 このような中、当社では、消費低迷を打開するため、「よい商品をより安く」を前面に出した新たな販売強化の取り組みを推進し、昨年11月頃から売上及び利益において急速な回復を見せておりますが、当期に予定しておりました2店舗の新規出店が諸般の事情により翌期にずれ込んだことも影響し、売上高は当初予想を下回る602億500万円で修正いたします。
 また、利益面では、販売費及び一般管理費において、当事業年度に出店を目指していた店舗の新店要員70名を既に採用しているなど先行投資による人件費の増加等が大きく、営業利益は3億500万円、経常利益は4億620万円、当期純利益は2億770万円でそれぞれ修正いたします。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 (平成26年4月11日発表) | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 33.00 | 33.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | — | | |
| 前期実績 (平成26年2月期) | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |

修正の理由

当社は、将来の事業展望と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対して適正かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。
 こうした方針のもと、足元の業績動向が順調に推移していることから、普通配当を3円00銭増配し1株当たり33円00銭に上方修正いたします。なお、配当性向は25.1パーセントとなる見込みであります。

※この資料に記載されております業績予想数値等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって業績予想数値と異なる可能性があります。

以上